

決算報告書

(第 12 期)

自 2023年 5月 1日

至 2024年 4月 30日

株式会社エイリム

東京都渋谷区代々木4丁目31番6号

西新宿松屋ビル8階

損益計算書

自 2023年 5月 1日 至 2024年 4月 30日

(当期累計期間)

株式会社エイリム

(単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売上高	1,417,869,125	
売上高合計		1,417,869,125
【売上原価】		
(製) 賃金	532,464,061	
(製) 法定福利費	80,186,128	
(製) 福利厚生費	1,589,552	
(製) 支払手数料	49,852,078	
(製) 外注費	401,434,494	
(製) 交際費	394,137	
(製) 会議費	2,146	
(製) 旅費交通費	5,686,362	
(製) 通信費	2,315,603	
(製) 消耗品費	2,236,378	
(製) 水道光熱費	2,317,956	
(製) 新聞図書費	4,000	
(製) 地代家賃	22,582,788	
(製) 清掃費	676,000	
(製) 減価償却費	4,799,633	
(製) 資産除去費用	39,378	
(製) 派遣費用	87,670,583	
(製) 租税公課	600	
売上総利益		1,194,251,877
【販売費及び一般管理費】		223,617,248
営業利益		102,856,944
【営業外収益】		120,760,304
受取利息	7,835,915	
受取手数料	277	
経営指導料	△12,000,000	
雑収入	95,289	
営業外収益合計		△4,068,519
【営業外費用】		
雑損失	13,778	
営業外費用合計		13,778
経常利益		116,678,007
特別利益合計		0
特別損失合計		0
税引前当期純利益		116,678,007
法人税、住民税及び事業税	38,222,080	
法人税等調整額	894,457	
法人税等合計		39,116,537
当期純利益		77,561,470

販売費及び一般管理費明細書

自 2023年 5月 1日 至 2024年 4月 30日

(当期累計期間)

株式会社エイリム

(単位：円)

科 目	金 額	
広告宣伝費	220,340	
交際費	12,014,814	
役員報酬	54,000,000	
賞与引当金繰入額	3,237,071	
法定福利費	3,497,274	
福利厚生費	1,342,557	
教育費	112,182	
外注費	218,600	
旅費交通費	1,699,638	
通信費	172,231	
消耗品費	176,876	
保険料	601,670	
新聞図書費	25,837	
支払手数料	6,081,100	
諸会費	16,614	
会議費	18,640	
租税公課	8,617,800	
支払リース料	1,073,200	
採用費	7,460,000	
支払報酬料	2,270,500	
販売費及び一般管理費合計		102,856,944

株主資本等変動計算書

自 2023年 5月 1日 至 2024年 4月 30日

(当期累計期間)

株式会社エイリム

(単位：円)

科 目	変 動 事 由	金 額
【株主資本】		
【資本金】	当期首残高及び当期末残高	100,745,000
【資本剰余金】		
資本準備金	当期首残高及び当期末残高	100,745,000
資本剰余金合計	当期首残高及び当期末残高	100,745,000
【利益剰余金】		
(その他利益剰余金)		
繰越利益剰余金	当期首残高	594,408,251
	当期変動額 当期純利益	77,561,470
	当期末残高	671,969,721
利益剰余金合計	当期首残高	594,408,251
	当期変動額	77,561,470
	当期末残高	671,969,721
株主資本合計	当期首残高	795,898,251
	当期変動額	77,561,470
	当期末残高	873,459,721
純資産合計	当期首残高	795,898,251
	当期変動額	77,561,470
	当期末残高	873,459,721

個別注記表

自 2023年 5月 1日 至 2024年 4月 30日

(当期累計期間)

株式会社エイリム

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 定率法を採用しております。
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
工具、器具及び備品 4年～6年

無形固定資産 …… 定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
ソフトウェア 5年

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。
なお、当事業年度においては、貸倒実績・個別の回収不能見込み額がないため、貸倒引当金を計上しておりません。

賞与引当金 …… 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

(3) 収益及び費用の計上基準

当社は、以下の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しています。

ステップ1：顧客との契約を識別する

ステップ2：契約における履行義務を識別する

ステップ3：取引価格を算定する

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5：履行義務の充足時に（又は充足するにつれて）収益を認識する

収益の主要な区分におけるそれぞれの収益認識基準は、以下のとおりです。なお、約束した対価の金額は、概ね1年以内に受領しており、重要な金融要素は含まれておりません。

① ゲームの共同開発・運営企業に対する役務提供に係る収益

当社では、スマートフォン・タブレット端末等向けのモバイルオンラインゲームを他社と共同で開発・運営しております。

当該サービスにおいては、顧客である協業企業に対し、当社が開発・運営業務等の役務の提供を行うことで履行義務が充足されるものと判断しております。

当社が顧客から受取る対価は、ユーザーからの課金額に応じて算定され、当社から顧客への請求額として確定した時点で収益を認識しております。

(4) その他計算書類の作成のための重要な事項

グループ通算制度の適用……グループ通算制度を適用しております。